

2022. 5 月のブルーベリー農園その 3

雨が少なく晴天、曇天が続く中、東広島市豊栄町のブルーベリー園に安芸区の自宅からブルーベリーの剪定や草刈りの作業をするために通う。ブルーベリーは開花から結実に移って実が少しずつ大きくな

っている。早生のブルーベリーは毎年 6 月下旬に初収穫をしているのであと 1 ヶ月あまり。安芸の郷の建物の第 2 森の工房 AMA の屋上では早生と中生のブルーベリーを栽培しているが、もう色づき始めていて、月末には初収穫を迎える。その建物の中にある Cafe さくらでフレッシュブルーベリーの生ジュースがお目見えするのも近い。



5 月 14 日 (土)
庭の池の周りにトンボがきた。



② アザミ



5 月 15 日 (日)
農園の周囲の花から
① 道路沿いのブルーベリー畑の法面に植えているオオタニウツギ



② この花木は沢山の小さな花を咲かせる。



③ バイカイカリソウ



④ ブタナ



⑤ ジャーマンアイリスとブルーベリー農園 (5月21日)



⑥ ジャーマンアイリス (5月21日)



⑦ 5月21日になるとエビネもしぼんでいる。オオタニウツギの花も21日にはもうしぼんでいる。農園の周囲の花のうつろいは足早い。



5月21日(土)
田植えから約3週間。緑の藻が生える中、伸びていく早苗。山影が田の水に映る。



ソラマメの初収穫。待ち切れず袋の中を覗く。ブルーベリーの剪定や草刈り作業の合間にトマトやナスなどの夏野菜の苗を植えた。

2022年5月23日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良

《2022年5月23日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

